



立教大学大学院 異文化コミュニケーション研究科

2014年度 連続公開講演会【第3回】



日時 : 2014年12月13日(土) 13:30~15:00

会場 : 池袋キャンパス 15号館(マキムホール)M201 教室

視聴覚翻訳における非言語要素の役割 —機能主義的翻訳研究の立場から—

同一のコミュニケーション状況において、何を言語化して表現し、何を言外の文脈や非言語チャンネルで伝えるかは言語文化により異なるものであり、それについての知識は異文化間でコミュニケーションを行う上で重要である。

言語と非言語の両チャンネルが含まれる視聴覚メディアにおいて、翻訳によって言語と非言語で担う情報にどのような差が生まれるのか。こうした現象について、特に非言語要素に着目して例示するとともに、機能主義的翻訳研究の立場から考察を加える。

講師 藤濤 文子 氏 (ふじなみ ふみこ)
(神戸大学大学院国際文化学研究科・教授)

プロフィール : 神戸大学大学院国際文化学研究科・教授。専門は翻訳研究。大阪外国語大学外国語学部卒業。大阪外国語大学外国語学研究科修士。博士(学術)。1980年代から西洋、特にドイツにおけるトランスレーション・スタディーズに注目し、ドイツ語圏で影響力を持った機能主義的アプローチを基に、様々なジャンルにおける翻訳行為の研究を続けている。2006年、第三回日本独文学会賞を受賞。日本通訳翻訳学会理事。日本独文学会、阪神ドイツ文学会会員。著書に『翻訳行為と異文化間コミュニケーション：機能主義的翻訳理論の諸相』(2007年)、共著に『日本の翻訳論—アンソロジーと改題』(2010年)、『翻訳研究キーワード』(2013年)などがある。

主催 異文化コミュニケーション研究科異文化コミュニケーション専攻
対象 異文化コミュニケーション研究科学生
本学学生、教職員、校友、一般市民

受講無料
申込不要

問合せ先 立教大学 独立研究科事務室 TEL: 03-3985-3321
〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1